

北陸経由で万博旅行

高校二年 ○○ ○○・△△ △△

1.はじめに(○○)

みなさんこんにちは。高校二年の○○です。今回は夏休みの初めに鉄道研究部の友人(□□・△△・××)と万博旅行に行ってきたことについて書きます。単に大阪に行くだけなら、東海道新幹線経由が速くて値段も安いのですが、鉄道研究部ということであえて北陸を経由して行ってきました。1泊2日の短い旅行ではありますが最後まで読んでいただければ幸いです。

なお、この旅行記では今回の旅行中に乗車した交通機関について以下の通りに表記します。

乗車駅 発車時刻 ►►► 降車駅 到着時刻

路線/種別(列車名)/行先/車両形式

また、以降は基本的にだ・である口調で表記します。

2.1日目(7/22)(○○)

大井町 5:23 ►►► 東京 5:40

JR 京浜東北線/各駅停車/大宮行き/E233系

おはようございます。今日から万博旅行ということで、前日は中々寝付くことができず寝不足だ。普段の京浜東北線のラッシュ時は相当な混雑なのだが、流石に5時台ということで空席が目立つてあり、なかなか新鮮だった。そのようなことを考えているうちにあっという間に東京駅に到着した。横浜方面から来る友人と待ち合わせをして新幹線ホームに入場する。1日目は万博には行かず北陸新幹線に乗り東尋坊に行った後、大阪方面まで在来線で向かう予定だ。

東京 6:16 ►►► 金沢 8:43

北陸新幹線/かがやき 501号/敦賀行き/E7系

東京駅からいよいよ新幹線に乗車していく。北陸新幹線には乗ったことがあるのだが、長野駅までしか乗ったことはないので楽しみだ。北陸方面へ向かう始発列車にも関わらず、車内は出張客と思われる方でほとんど席が埋まっていた。東京方面から東尋坊に行くには芦原温泉駅からバスに乗り、福井駅から在来線で向かうかの2択なのだが、行きは芦原温泉駅からバスに乗ることにした。かがやき号の中には芦原温泉駅に停車するものもあるが、この列車は停車しないため金沢駅で一旦降り、各駅に止まるつるぎに乗車することにした。降りるといつても改札から出ることはできないのでただ待機するしかない。今回は時間の都合上立ち寄ることができなかつたが、富山や金沢にも観光に行ってみたいと思った。



かがやき 501号/東京駅で撮影

金沢 9:05 ►►► 芦原温泉 9:32

JR 北陸新幹線/つるぎ 13号/敦賀行き/W7系

平日のこの時間ならガラガラだと思っていたのだが思いのほか乗車率が高く驚いた。30分弱の乗車ということであつて、この間に芦原温泉駅に到着した。この駅で降りたのは私たちを除くと10人程度しかおらず、かなり閑散とした雰囲気だった。ただ2024年に出来たばかりということもありかなり綺麗だった。この駅からは在来線のハピラインふくいも出ている。今回はこれには乗らずバスで東尋坊まで向かう。

芦原温泉駅 9:40 ►►► 東尋坊 10:17

京福バス/97系統東尋坊線(木村病院経由)/龍翔博物館前行き

バスの中は混雑しており座席がほとんど埋まっていた。地元の方はあまりおらず、だいたい観光客だと思われる。目的地の東尋坊に近づくにつれ、綺麗な海の景色が広がっていく。30分程度で東尋坊に到着だ。ミステリーやサスペンスドラマではよく出てくる場所で、自分も何度か目にしたことがあるのでとても感動した。当初は予定していなかったが、時間があったため遊覧船に乗車していく。乗船時間は30分程度だったが、東尋坊の地形についての解説や歴史について解説していく興味深い内容だった。もっと滞在したかったものの列車の乗り継ぎを考え、1時間程度で立ち去ることにした。アクセスは良くないが再訪したいと思った。



東尋坊の石碑



断崖絶壁

東尋坊 11:17 ►►► 三国港駅前 11:22

京福バス/97系統東尋坊線(木村病院経由)/龍翔博物館前行き

先ほどと同じ系統なのだが乗客がほとんど入れ替わる形となった。これから福井駅まで向かう予定で先ほどのルートで戻ってもいいものの、せっかくなのでえちぜん鉄道に乗るために三国港駅まで向かう。

三国港 11:39 ►►► 福井 12:31

えちぜん鉄道三国芦原線/普通/福井行き/MC6001形



三国港駅



えちぜん鉄道 MC6001 形

三国港駅は同線の終着駅なのだが自分たち以外に乗車する人はおらず、閑散としていた。終点までガラガラだらうと予想していたのだが、次の三国駅から学生らが大量に乗車してきて座席はほとんど埋まった。ちょうどお昼時ということで福井駅周辺の飲食店を探すことにした。私はとある YouTuber が紹介している二郎系ラーメンの名店があるのでそこに行きたかったのだが、今回は諦め名物の味噌カツとおろしそばが食べられる店に行くことにした。

福井駅に着くと駅前に恐竜が鎮座していた。おそらくセンサーで反応する仕組みなのだろう、近くと恐竜が動いたり吠えたりして反応する。かなりリアルでとても面白かった。市街地から1時間程度時間がかかるので今回は行けなかったが、機会があったら恐竜博物館にもぜひ行ってみたいと思う。



迫力がある

福井 14:41 ►►► 敦賀 15:02

北陸新幹線/つるぎ 25号/敦賀行き/W7系

福井駅から北陸新幹線に乗車し、同線の終着駅である敦賀駅へと向かう。これで北陸新幹線はほとんどの区間を乗車したことになる。敦賀駅では大阪駅へと向かう特急サンダーバードと名古屋駅へ向かう特急しらさぎに接続している。特急電車に乗り換える人が大半だったが、普通列車で大阪方面に向かっていく。

敦賀 15:20 ►►► 山科 16:52

JR 北陸本線・湖西線/新快速/姫路行き/223系

新快速とは言っても近江舞子駅までの約1時間は各駅に停車していく。今まで私は京都圏や大阪圏でしか乗車したことがなかったので、各駅に停車していく新快速は新鮮だった。このまま乗車していれば大阪方面には行けるのだがせっかくなので京阪線に乗車していくことにした。

山科 16:58 ►►► 三条京阪 17:07

京都市営地下鉄東西線/普通/太秦天神川行き/50系

京阪線に乗り換える三条京阪駅まで移動していく。

三条 17:13 ►►► 京橋 18:00

京阪本線/特急/淀屋橋行き/8000系

久しぶりの京阪線の乗車ということでプレミアムカーに乗りたかったのだが残念ながら席が埋まっており諦めることにした。夕食は大阪ということで串カツやたこ焼きの店に行こうかとも考えたが店数が多くてよくわからなかったので有名なラーメン店に行くことにした。

京橋 18:03 ►►► 福島 18:13

JR 大阪環状線/区間快速/加茂行き/223 系+223 系

京橋駅から乗り換えて大阪環状線に乗車していく。平日ラッシュ時だったので車内は非常に混雑していた。10 分程度で福島駅に到着する。



ごちそうさまでした

夕食を食べ終えその後はホテルに向かうのだが、電車だと行きにくかったのでタクシーを使うことにした。

3-1.2 日目(7/23)(○○)

梅田 7:38 ►►► 本町 7:43

Osaka Metro 御堂筋線/普通/なかもず行き/30000A 系

おはようございます。昨日は深夜 3 時過ぎまでゲームに熱中していたのでとても眠い。旅行の時は夜中に友人とゲームをするのが一番楽しいと思う。今日は今回の旅の一番の目的である万博に行く。

本町 7:51 ►►► 夢洲 8:11

Osaka Metro 中央線/普通/夢洲行き/400 系

列車の中は通勤客の方と万博に行くであろう人で半々くらいだった。大混雑だと思ったのだが意外にもゆったりと立てるくらいの混雑だった。20 分程度で夢洲駅に到着する。

3-2.2 日目(7/23)(△△)

夢洲駅のコンビニで朝食を購入し、すぐに東ゲートに向かったのだが既に大勢の人が並んでいた。9時になり入場が始まるのだが、手荷物検査があるので中々前に進まない。隣では子どもが早く入りたいなどとぐずっておりその親が暴言を吐くなど、なかなか阿鼻叫喚な様子である。結局入場できたのは9時30分ほどと、本来の入場時刻からは30分ほど遅れてしまった。

朝が一番空いていると思ったので、東ゲートからも近く人気のアメリカパビリオンへと向かう。予想では待っても1時間くらいだと思ったのだが、到着が遅かったせいで既に予想を上回る2時間待ちとなっていた。それでもこれから空くことはないと思ったのでそのまま並ぶことにした。この並んでいる間に当日予約を済ませておく。

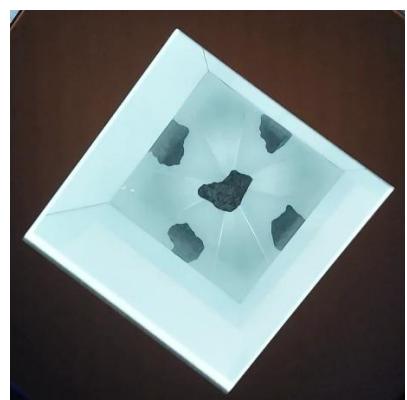
ここで少し万博の予約について説明しておこう。万博は「2か月前予約」、「7日前予約」、「3日前予約」、「当日予約」の4種類の予約が存在している。僕の場合7日前予約は抽選に外れ、3日前予約は予約開始の30分前に存在があることに気づき予約をしようと思ったら、ログインに1時間待たされてしまったせいで予約枠が埋まってしまい、こちらも予約できなかつたのだ。つまり予約できるチャンスは当日しかない。

急いで予約をして、なんとか18時10分からの日本館の予約をとることができた。当日予約は予約したパビリオンに来場するとまた予約できるというものなので、このような取り方はあまりよくないうのだが取れただけよしとしよう。

結局アメリカパビリオンに入場できたのは11時20分と、しっかりと2時間並んだ。内容はというと、やはりメインの内容である「月の石」が一番インパクトがあった。そのほかにも宇宙関連の展示や、大画面での動画放映があるなどかなり充実していたと思った。外に戻ると、待ち客が多すぎるせいか待機列の新規流入がストップしていたので、やはり早く行ってよかったです。



アメリカパビリオンの看板



月の石

次に隣のフランスパビリオンに向かおうとしたが 1 時間待ちと、最初に入場した時に比べかなり列が伸びていたので諦め、ネットの待ち時間情報で比較的短かった北欧館に向かう。北欧館はすぐ入れてよかった。内容は北欧各国の環境への取り組みや生活についての説明が見られるもので、なかなか意識が高く感心した。しかもパビリオンを出る際、環境に良い紙パックを使った水を配ってくれるなどのホスピタリティまで感じられた。

その後、すぐ近くにあったトルクメニスタンパビリオンに入った。ここで並んでいる間、トルクメニスタンについてあまり知らなかったので、簡単に Wikipedia で調べることにする。トルクメニスタンは中央アジアの国で旧ソビエト連邦だったらしい。在留邦人や在日トルクメニスタン人の方はどうも互いに 30 人ほどと民間での交流はほとんどないようだが、2009 年や 2013 年にトルクメニスタンの大統領と首脳会談をしたり、2015 年には安倍元首相がトルクメニスタンを訪問していたりと、外交的なつながりは強まりつつあるようだ。

このパビリオンの入場時間は 30 分ほどと書いていたが、実際はすぐに入ることができた。入って早々目に入ったのがこれである。



これはどうやらトルクメニスタン大統領の肖像画らしく、いきなり圧倒されてしまった。そこから中に入ると広い芝生があり、そこに座ってしばらくしていたら動画が流れ始めた。トルクメン語によるナレーションで、日本語字幕は画面下に小さく書いてあるだけだったため見えにくく、よく分からなかった。このパビリオンは他大多数の国とは違い 3 階まであり、展示は 2 階まであるようなのでさつと見る。トルクメニスタンの鉄道や日用品など恐らく今後見ることもないであろう物が見られて興味深かった。特に印象に残ったのが、なぜか日本語の教科書があったことだ。このために作ったのだろうか。

なんだかんだ 12 時を回ってしまったので、そろそろ食事をとる場所を探す。しかし、どこもかしこも混んでいてとても入れそうにない。どうしようもなさそうなので、近くのオマーンパビリオンに入る。オマーンは中東にある国で鉄道がないらしく、鉄研部員としては少し残念な感じである。ここでは 30 分ほど待ったが、スタッフの男性がオマーンについてのクイズをしていたため退屈しなかった。中では映像が流れしており、上手く言語化できないがなかなか壮大な感じだった。

パビリオンから出たが、それでもレストランはどこも混んでおりとても入れる雰囲気ではなかった。結局大屋根リング下の屋台でご飯を購入し食べた。購入したのは焼きそばと肉巻きだけだったが、2000円と結構なお値段となってしまった。まあ常設のお店ではないためこんなものだろう。



ごちそうさまでした～



会場内によくあった
特別デザインのマンホール

暑のせいで動く気にもなれず 1 時間ほどゆっくり休んだのち、次は大屋根リングの外側である西ゲート方面へ向かう。ここでのお目当てはたった(?)2200円でミャクミャクのぬいぐるみが確実に手に入る「ミャクミャクくじ」である。すぐ入れるかと思ったが、思ったよりも多くの人が並んでおり結局できたのは 15 時 20 分と 1 時間ほど並んでしまった。他の同行者は普通のサイズの 3 等だったが、運が良いことに僕は 2 等、全長約 46cm のそこそこ大きなものだった。ラッキーである。



ミャクミャク @風の広場マーケットプレイス



通り道にはガンダムが

ここでパビリオン巡りに戻る。次に行くのはコモンズ B 館と C 館である。この館は色々な国が共同で出展している建物で、1 つ 1 つ説明しすぎると長くなりすぎてしまうので割愛するがいくつかの国を見て回った。本当はじっくり展示を見て回ったり、売っているものを購入したりしたかったが、いかんせん人が多いのでゆっくり見られなかった。少し残念である。



公式 X アカウントが有名なナウル共和国

公式マスコットの「ナウルくん」

大屋根リングを時計回りに引き続き進み、比較的空いていたサウジアラビアパビリオンに入る。次に 2030 年に行われる登録博はサウジアラビアのリヤドであるためか、少しパビリオンの規模が大きく気合いが入っている感じである。中ではおじさんたちが何かの踊りをしていた。

次に訪れたのは夜の地球 Earth at Night 館である。ここは、輪島塗によって作られた大型の地球儀が展示されている建物で、この地球儀は 2024 年 1 月の能登半島地震でも無傷だったというのだからすごいことである。館内はいくつかの制作過程をまとめたビデオが放映されており、その先に地球儀があった。その他にも世界の都市も輪島塗で上空から見た夜景のようになっている展示があり、なかなか強く印象に残った。



夜の東京を再現した展示

夜の地球館も見終わったところで時刻も 17 時ごろと、日本館の予約時間までまだ少し時間があったので、すぐそばにあったアゼルバイジャンパビリオンに向かった。このパビリオンは建物の外観が水を使ったものでとてもおしゃれだった。外観のインパクトだけで決め、アゼルバイジャンについてよくわかつていなかったので待ち時間で調べた。アゼルバイジャンも旧ソビエト連邦の中央アジアに位置する国で、バクー油田は 1900 年代初頭には世界最大級の産油量を誇っていたらしい。

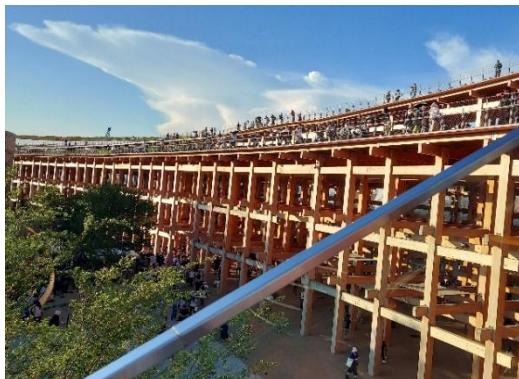
パビリオン内は独特な円形のスクリーンに映像が流れしておりその後ちょっとした展示があった程度と、外観に対して意外とこぢんまりとしていたが、日本館の予約時間が迫っていたのでちょうどよいサイズ感だった。



アゼルバイジャンパビリオンの入り口

美術館みたい

アゼルバイジャンパビリオンを出て、一度大屋根リングの上にエスカレーターで上ることにする。



大屋根リング



上の様子

大屋根リングからは色々なパビリオンが見られて面白かったが、多くの人が場所をとっていた。どうやらこの日は会期内でも最大級の花火が打ちあがる日らしく、そのために待っていたようだ。9時間ぶりのアメリカパビリオンを通り過ぎ、大屋根リングも一周した当たりで日本館に到着した。

日本館は予約で人数が制限されていたおかげで、すぐに入れた。日本館のテーマは「循環」らしく、どのように万博内の水が循環していたり、ゴミがどのようにリサイクルされていたりするのかが体感できる内容だった。また「日本」館というだけあってドラえもんやキティちゃんとコラボした内容もあり、海外の人からの受けもよさそうだった。



日本館

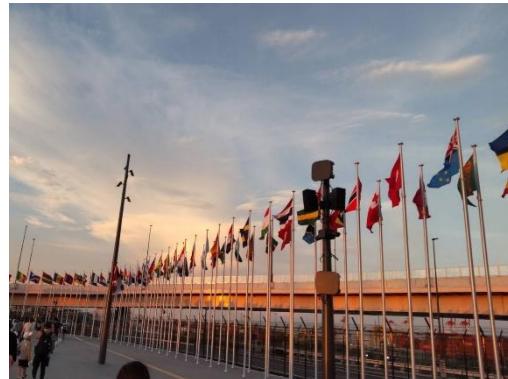


緑のキティちゃんたち

そして現在時刻は 18 時 50 分、そろそろ撤退しないと花火が始まってしまい大変な混雑となってしまうので、名残惜しいが帰ることにする。

行きと同様東ゲートから帰るのだが、この時間からも来る人がそこそこおりなかなか衝撃的だった。大阪市中心部から気軽に行けるため、通期パスを持っている人はこの時間から花火だけを見るという選択肢もあるのだろう。うらやましいものだ。

東ゲートを出てまたびっくりした。混雑緩和のため順路が複雑に曲げられており、駅に辿り着くまでには結構かかりそうだ。まだ客は多くなかったため急ぐことはできるが、足がとにかく疲れた。駅に入り電車に乗る。



参加している国の国旗たち

夢洲 19:11 ►►► 本町 19:30

Osaka Metro 中央線/普通/学研奈良登美ヶ丘行き/400 系

花火が打ちあがる前だったので、そこまで乗客は多くなかった。本町駅に到着し、コインロッカーの荷物を回収する。

本町 19:38 ►►► 新大阪 19:50

Osaka Metro 御堂筋線/普通/箕面萱野行き/9000 形

ラッシュ時間帯ということで非常に混雑していた。乗車したのは北大阪急行の車両で、少し新鮮だった。いつか北大阪急行にも乗車したいところである。中津駅から地上に上がり、新大阪駅で下車する。新大阪駅では東海道新幹線のきっぷ購入や、夕食の購入でバタバタしてしまった。自由席にして節約しようか迷ったが、いつのまにかのぞみ号は自由席が3両から2両に減っており座れるか心配だったので指定席にしておいた。

新大阪 20:15 ►►► 新横浜 22:24

東海道新幹線/のぞみ 262 号/東京行き/N700A

新横浜駅までひとつ飛びだ。窓側の席はきっぷをとる際にすでに埋まっていたのだが、新大阪駅の時点では半分ほどの座席が空いていた。だが、次の京都駅で一気に乗ってきて隣にもお客様がやってきた。夕食のカツサンドを食べたら急に眠くなってしまい、寝てしまった。起きたころには熱海駅を通過するところだったため、一気に帰ってきた気がして寂しい気持ちになってしまった。新横浜駅で降りる。

新横浜 22:27(+) ►►► ひみつ 22:??(+?)

相鉄新横浜線・相鉄本線/各停/湘南台行き/20000 系

間違えて東急線方面へ向かう電車が発車する 4 番線へ降りてしまい「しまった」と思ったが、ダメが乱れていたせいでなぜか東急線が 1 番線から、相鉄線が 4 番線から発車と通常時とは逆になっていた。しばらく待っていたら発車し、しばらく乗車したのち最寄駅で下車した。かくして短いこの旅は幕を下ろしたのである。

4.おわりに(△△)

いかがだったでしょうか。そもそも 1 泊 2 日であり鉄道に乗らなかったため、旅行記というよりもほぼ万博のレポみたいな感じになってしまいました。

関西万博は 10 月 13 日までと、もう終わってしまう上に相当混雑しているようなので、関東から今行くのはあまり現実的ではない気もしますが、もし行く機会があればぜひ行ってみてはいかがでしょうか。

また、2027 年に万博とは少し違いますが、横浜・上瀬谷にて園芸博覧会が行われるのでそちらにも行ってみたいですね(詳しくは私の研究を読んでいただければと思います)。

最後に同行してくれた 3 人や、予約をとってくれた両親、校閲してくれた部員や顧問の先生方、

本当にありがとうございました!